

猫の幸せを願って 土佐市出間地域野良猫一斉TNRのお手伝いをしました

10月3日は土佐市出間地域の一斉TNRでした。

出間地域の民生員さんから野良猫の事で相談を頂いたのが2024年7月上旬

出間地域の方（自治会長、副自治会長、民生員苦情者）、土佐市役所職員、ねこねこくらぶが膝を合わせ、この問題をどうやって解決していくか、を話し合ったのが8月1日。

その後、行政、ねこねこくらぶ共にアドバイスなどさせて頂き、民生員さんが地域の自治会に情報を落とし込み、生息している野良猫の調査、高知県集中枠の申し込み、地域へTNRする旨の回覧板の配布と直前でのチラシ配りなど民生員さんがシッカリ動いてくださったおかげで10月3日には出間地域に生息する猫の不妊去勢手術が実現。

手術の日程が決まったと言うことで、10月3日の手術本番に向け9月19日の土佐診療所（ねこねこくらぶが主催するTNR手術）のお手伝いにも【予習】と言う形で出間から民生員さんと副自治会長さんがお手伝いに来て下さったり…相談を頂いた時から手術時まで本当にすごくスムーズな運びで感動しました。

10月3日手術日当日…

出間地域からは、民生員さんご夫婦、副自治会長さん。ねこねこくらぶからはメンバー4名。土佐市役所から都市環境課職員1名。土佐市議会議員の山脇市議が参加。

予習をしてもらった事で、本番時に特に教えることもなく、体重測定から器具洗いまで全工程をテキパキと動いてくださっていました。

また今期から土佐市は『土佐市地域猫活動等支援助成金』も開始されたので県の集中枠助成金と土佐市の地域猫助成金を併用することにより、持ち出しもほぼゼロでした。

あと、出間地域の方が『地域の問題』として捉えてくれ、出間地域の公民館を手術会場として提供。

にじのはしSCの先生にも公民館に来て頂きT（捕獲）N（手術）R（リターン）までの一貫を出間地域から出ることなく行えました。

会場の設営はもちろんです、捕獲器も市役所から全部借りてくれていたり、捕獲に至っても、捕獲器のセットや設置方法を教えただけで（私たちも数回見回りはしましたが）主に地域の方が動いてくれました。

今回冗談抜きでねこねこくらぶは本当にお手伝いを少ししただけで、あとは全て地域の方主体で動いてくださり、土佐市役所公認の地域猫第一号として素晴らしいスタートが切れたのではないのでしょうか。

『恐らく取りこぼしはない。』との事でしたが、地域の方も把握していない猫が実は潜んでいたり、他の場所からの流入猫が来たりもあるので、『手術したから終わり』ではなく、今日から地域猫活動のスタート。

餌やりや環境美化は当たり前、取りこぼしや流入猫、田舎ならではの家外自由な飼い方をしている猫などにも気をつけながら、今日から始まる地域猫活動頑張って下さいね。と話しをして終了しました。

本当に手術したから終わりではなく、手術後の方が大事だと私たちは思っていますので、これからも出間地域とはコミュニケーションを取り合いながら共に邁進していきたいと思います。

手術翌日、民生員さんから一緒に参加してくれた副自治会長は、今回をきっかけに猫の飼い方についての意識の持ち方を出間全域に少しずつ広げていかないかんね、といてくださってたようで、今回の手術をキッカケに地域住人の飼い方も良い方に変わってくれたら嬉しいです。

また出間のこの活動に刺激を受けて、他の地域でも地域主体の【地域猫活動】が新たに始まれば…

土佐市は市が準備してくれている【土佐市地域猫活動等支援助成金】もありますので、土佐市のみなさん活用しませんか？

少しでも気になった方は土佐市役所都市環境課、若しくはねこねこくらぶまでお問い合わせください。